

2023年

4月開設

武蔵野大学

工学部

サステナビリティ学科

あしたじゃない。
ずっとをつくる。

いのちを脅かす、気候変動や生物多様性の危機といった環境問題。

そして、暮らしを揺るがす、経済格差や地方の衰退といった社会問題。

こうした問題の多くは、これまでの文明が生み出したもの。

だとすると、これまで通りの考えだけでは解決できません。

いま必要なのは、世界をつながりの中でとらえ、

統合的な視点で持続可能な社会をデザインすること。

そして、実践を通してカタチにすること。

そのための学びがある。場がある。人がいる。

武蔵野大学サステナビリティ学科、はじまる。

あしたじゃない。ずっとをつくる。

2023年

4月開設

武蔵野大学 工学部 サステナビリティ学科

サステナビリティ学科の3つの特徴

1 具体的なスキルを 獲得できるカリキュラム

環境統計、環境計測、環境配慮設計、カーボンマネジメントなどについて自ら考え、行動に移せるスキルを実践的に学びます。

2 仲間と共に、社会を つくることを通じた学び

持続可能な社会をつくる鍵は、共創する力です。そのためにファシリテーション、コラボレーション、協働などの技術を学びます。本学科の学びの中心は、学生が頭と体を使って主体的・実践的に学ぶ「サステナビリティプロジェクト」であり、1週間に400分をあてます。

3 7:1 (学生および教員比率)

教員1人当たりの学生数は約7人(各学年)であり、一人ひとりの成長をしっかりサポートします。

学生主体の実践的で多様な学び

ソーシャルデザイン コース

多様な人との協働によりサステナビリティを推進する仕組みや事業をデザインし実行する力を身につける。

環境エンジニアリング コース

環境調査や分析、設計など工学的な方法により環境問題の解決策を検討し、提案する力を身につける。

社会と環境をデザインし、実現する力

学生のプロジェクト・学びの例

- ゼロカーボンを目指す企業のCO₂削減戦略を考える
- 再生可能エネルギーを使った脱炭素と地域の活性化を提案する
- 東京臨海エリアをフェアトレードタウンにする
- 地域通貨を使った社会経済活性化の社会実験
- コミュニティ農園で人や自然とのつながりをデザインする
- 環境心理学の知見を用いて環境配慮行動促進方策を考える
- AIを用いて資源利用やリサイクルを高度化する
- 住宅・建物の再生や脱炭素化、SDGsを支援する
- 都市のヒートアイランド対策を考える
- 海洋ごみ回収装置を設置し、ごみの実態を調査する
- 安全で持続可能な飲料水のインフラを考える
- 都市の緑化やランドスケープをデザインする

サステナビリティ学科の学び

将来の 職業 イメージ

●企業

企業のサステナビリティ推進担当・責任者

●公務員

サステナビリティ推進に携わる国や自治体の公務員

●エンジニア

環境評価、資源循環などを推進するエンジニア

●研究職

大学院進学、企業の研究職

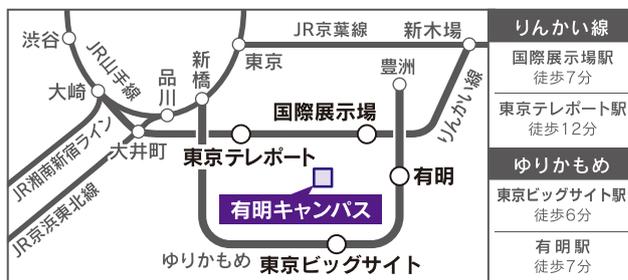
世界の幸せをカタチにする。
Creating Peace & Happiness for the World



工学部 サステナビリティ学科
〒135-8181 東京都江東区有明三丁目3番3号
<https://esg.musashino-u.ac.jp/>



お問い合わせ (入試センター)
Email: nyushi@musashino-u.ac.jp
TEL: 03-5530-7300
<https://www.musashino-u.ac.jp/>



サステナビリティ学科へのアクセス